



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ推進ニュース -介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう!-

2009年も引き続き取り組みを強め、介護ウェーブのうねりを起こしていく!

介護報酬改定に対する具体的な改善要求を全国から発信しよう! 厚労省がパブリックコメントの募集を開始(2009年2月20日締め切り)

1月22日、厚生労働省が【パブリックコメント】「平成21年度介護報酬改定に伴う関係省令の一部改正等に関する意見」の募集を開始しました。

今回のパブリックコメントは従来とは異なり、報酬単価が示されたあとの募集となったことが大きな特徴です。

介護改善のためにも、事業所・個人で改定全体に対する意見、サービス事業毎に示されている報酬体系・単価、基準内容の改善など、具体的な意見・要望を全国から発信し、厚労省に集中しましょう!

【意見の提出方法】

提出方法は、HP、ファクシミリ、郵送の3つの方法があります。提出にさいして注意事項等がありますので、厚労省HP（パブリックコメント）を参照してください。

厚労省に送付した意見は、全日本民医連にもお送りください。

介護シンポジウムに民医連外から50名が参加(全体で103名の参加)(大阪・同仁会)

1月24日(土)、堺市市民会館にて介護シンポジウムを開催し民医連外の事業所から約50名が参加し(全体では103名の参加)、記念講演とパネリストを迎えたシンポジウムをおこないました。

穴井常務による開会のあいさつのあと大阪社保協介護保険対策委員の日下部雅喜氏が介護保険制度のこれまでの経過や09年4月から改定される介護報酬改定についての講演をおこないました。その後、ケアマネ・ヘルパー・老健施設・健康福祉短期大学からのパネリストが各分野の現状と介護保険制度の課題などが出され、介護保険制度をより良いものにしていくため互いに協力し合い取り組みをすすめていきましょうと活発な意見交流が行われました。

シンポジウムの最後に同仁会介護事業部向井部長より1月22日に厚労省から出されたパブリックコメントについて改定全体に対する意見および個々のサービス事業ごとに示されている報酬体系・単価・基準の内容の改善などをパブリックコメントに意見を集中しようと訴えをおこないシンポジウムを締めくくりました。

(大阪民医連介護ウェーブ推進ニュースNo. 34 2009. 01. 28より)



「介護をよくする市民のつどい」に全道から200人が参加（北海道） 「これ以上、保険料を上げられたら暮らしていけない」という切実な声が！！

昨年4月からとりくんできた「介護ウェーブ」の一つの結節点として、24日に札幌市内で開催された「介護をよくする市民のつどい」に、芦別や仁木町、岩見沢市の事業者も含めて200人の参加がありました。連絡会以外から29事業所が参加しました。

リレートークでは、利用者家族に事業者、労働者、そして今回はサービスを利用していない高齢者から「これ以上保険料を上げられたら暮らしていけない」という切実な声も寄せられました。

講演に立った勝田登志子さんは、介護報酬改定を答申した社会保障審議会・介護給付費分科会での審議の内幕を明らかにして、「改定の内容に当事者の声が届いていない。当事者は声をあげ行動していかなくては」と訴えました。そして「介護保険のことだけよくしようと思っても難しい。社会保障全体を引き上げていかないと。そのためにも私たちの1票を「いのちを守る1票」としてしっかりと行使しましょう」と呼びかけました。

「つどい」には、自民・民主・共産・社民各党からメッセージが寄せられ、共産党（紙智子参議院議員）社民党（本田ゆみさん）があいさつしました。

（介護ウェーブ北海道連絡会ニュース No.17 2009.01.26 より）



参加者の感想から

- 介護報酬が上がるるのはうれしいですが、利用者に負担がこれ以上かかるのは困るなどつくづく思いました。また消費税で手当てるのも、もってのほかと思います。
- 「どうやって決まっていくのか」そんな疑問を抱きながら、介護問題に触れていたので、どういった議論がなされているのかを知れてよかったです。あらためて「利用者のために」という考えは希薄などと痛感しました。
- 勝田さんのお話、大変興味深く聞きました。審議会でのやりとり等ふだん聞けない様子が聞けて審議会のおかしなすすめ方がよくわかりました。
- リレートークでの原田さん（労働者）のお話で、介護保険制度後に施設労働者の賃金が下がったことや非正規に変わっていったことなど、初めて聞き、まだ知らない介護労働者の厳しい現状があるとわかり、驚いています。
- 今日は介護の当事者や家族の方、高齢の方も多く見受けられ、労働者だけでなく、利用者・家族と一緒に現状を変えていくよう、力をあわせて行かなくてはいけないと感じました。
- 川村先生の講演はとても興味深かったです。特に介護労働者の疲れや疲労回復の状況がタクシーエンジニアなど他業種との対比で示されて、よくわかりました。
- 勝田さんのパワーにこれまでの認知症家族の会の活動を見る思いがしました。次の報酬改定には後れをとらないようにただちに声を出す必要があります。これだけ介護問題が報道されている時であり、感想文を書くところからでも行動を起こす必要があると思いました。

お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp